

第4次 地域福祉活動計画 in 所沢

# ところWITHプラン

中間見直し版

2018年度～2020年度



この計画は、  
**「市民が一緒につくる！  
 健やかに 自分らしく暮らせる  
 支え合う 心やさしいまち」**  
 を、基本理念としています。



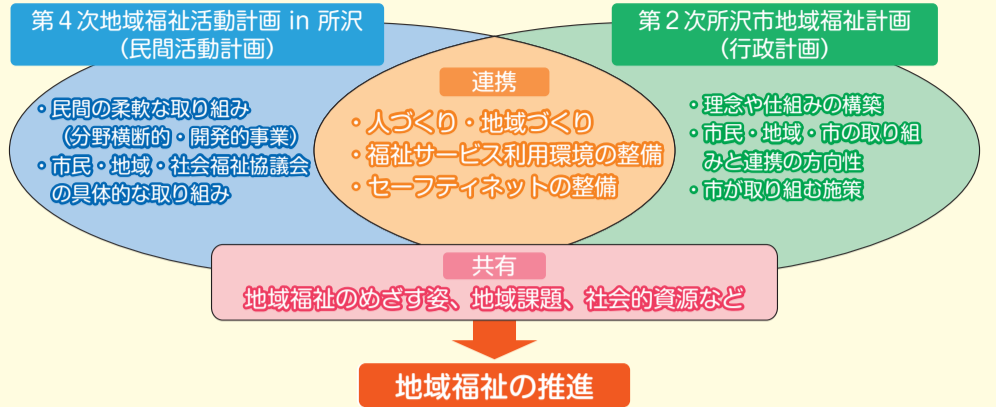
社会福祉法人 所沢市社会福祉協議会  
 地域福祉活動推進会議

事務局：社会福祉法人 所沢市社会福祉協議会・地域福祉推進課  
 連絡先：〒359-1112 所沢市泉町1861-1 TEL：04-2925-0041 FAX：04-2925-3419  
 E-MAIL：0041m@toko-shakyo.or.jp http://www.toko-shakyo.or.jp/ 平成30年4月発行

●地域福祉活動計画とは

・この計画は、所沢市が策定した「第2次所沢市地域福祉計画」（行政計画）とお互いに連携しあいながら、所沢市の地域福祉の推進に取り組む関係にあります。

地域福祉活動計画と地域福祉計画の関係



●計画の進行管理について

・所沢市社会福祉協議会地域福祉活動推進会議において「計画」→「実施」→「評価」→「見直し」を行います。

●中間見直しについて ※下記、「体系」をご参照ください。

・この計画は、2015年度から2020年度の6か年計画となっており、前期（3年間）終了に伴い、法改正や新たな福祉ニーズに対応するため、計画の体系「具体的なとりくみ」について、一部見直しを行いました。

「具体的なとりくみ」変更点

※下線は加筆箇所となります

u003Cp>>

- ②「ボランティアコーディネーターの育成（災害時を含む）」→「災害時にも対応できる人材の育成」
- ボランティアコーディネーターについては、①にて推進し、新たに災害時に備えた人材育成を推進します。
- ⑩「地域の商店や企業、社会福祉法人などによる地域貢献活動の促進と支援」
- 商店・企業に加え、社会福祉法人などの地域貢献活動を促進・支援します。
- ⑫「CSWの配置」→「CSWによる地域づくりのとりくみ」
- すでに全地区にCSWが配置されており、地域づくりの取り組みを更に推進します。
- ⑯「空き家・空き店舗、社会福祉施設、企業の会議室等の活用」
- 空き家・空き店舗に限らず、様々な社会資源の活用を推進します。

## 第4次地域福祉活動計画 in 所沢『ところWITHプラン』 体系

基本理念

市民が**一緒につくる!** **健やかに** **自分らしく暮らせる** **支え合う** **心やさしいまち**

地域福祉を基盤に市民参加のまちづくりをすすめる4つの基本目標に対する実施計画と具体的なとりくみ

基本目標	実施計画	具体的なとりくみ
<b>W</b> 誰もが健やかに安心して暮らせるまちづくり Well-being: 健やかに (「幸福」「健康」「福利」の意味)	1 安心のまちを支える人づくり 2 気軽に相談できる場づくり	①住民のボランティア活動を支援 ②災害時にも対応できる人材の育成 ③地域の中で気軽に相談できる場や機会の拡充 ④いつでも相談できる「福祉相談窓口」の展開
<b>I</b> 誰もが自分らしく暮らせるまちづくり Independent: 自分らしく (「自立」「自主的」「自由」の意味)	3 誰にもわかりやすい福祉情報の提供 4 一人ひとりを大切にす支援	⑤ふくし掲示板の設置の推進 ⑥インターネットなどによる福祉情報の発信と活用 ⑦生活困窮者や社会的孤立への支援 ⑧日常生活自立支援事業・成年後見制度の活用
<b>T</b> 誰もが参加できる支え合いのまちづくり Together: 支え合う (「一緒に」「協力して」の意味)	5 地域福祉活動を推進する社会資源の開発 6 支え合いの地域づくり	⑨地域福祉サポーターの育成と活動の強化 ⑩地域の商店や企業、社会福祉法人などによる地域貢献活動の促進と支援 ⑪地区社会福祉協議会(地区社協)をはじめとした地域福祉推進の組織づくり ⑫コミュニティソーシャルワーカー(CSW)による地域づくりのとりくみ
<b>H</b> 誰にも心やさしいまちづくり Heart: 心やさしい (「やさしい心」の意味)	7 福祉課題の理解と福祉の心(ふくしマインド)の醸成 8 身近な暮らしの場における活動拠点の増設	⑬参加型交流体験ができるふくし学習プログラムの開発 ⑭ふくし学習の場や機会の拡充 ⑮地域サロンをはじめとする活動拠点の開拓 ⑯空き家・空き店舗、社会福祉施設、企業の会議室等の活用

【用語解説】

ボランティアコーディネーター

ボランティア活動をしたい方とボランティアをお願い(依頼)したい方を結びつける(マッチングする)役割を担う人。

コミュニティソーシャルワーカー(CSW)

個別の支援を行いながら、ニーズの共通性に着目し、地域の生活課題の解決に向け、住民と協働して新しい仕組みづくりにとりくむ専門職。

地域福祉サポーター

所沢市の地域福祉を推進するため、地域における福祉課題の解決に向けて、関係者と連携を図りながら自発的な意志のもとに活動する人。

生活支援コーディネーター(SC)

「地域支え合い推進員」とも呼ばれ、協議体(支え合い会議)と協力しながら、私たちのまちをより良くしていくために地域の様々な活動をつなげ、組み合わせる調整役。

詳しくは裏面をご覧ください →

# W 基本目標 『誰もが健やかに 安心して暮らせるまちづくり』

## 実施計画1 安心のまちを支える人づくり

### ① 住民のボランティア活動を支援

- 地域福祉の担い手としてのボランティア活動を支援します。
- ボランティアコーディネーター（※）の育成や相談・調整などボランティアセンターの機能を充実していきます。

### ② 災害時にも対応できる人材の育成

- 災害時における支え合いなどの啓発を行い、災害ボランティアや災害ボランティアセンターの運営補助を行う市民スタッフの育成を進めます。



災害ボランティアセンター実地訓練

## 実施計画2 「気軽に相談できる場づくり」

### ③ 地域の中で気軽に相談できる場や機会の拡充

- 地域の関係機関・団体と協力し、気軽に相談できる場を増やしていきます。
- 身近な地域に相談できる場や機会（人・機関）があることについて広くPRします。



福祉の相談窓口（未来館）

### ④ いつでも相談できる「福祉相談窓口」の展開

- どこに、誰に相談したらいいかわからない時に、いつでも相談できる窓口の充実を図ります。

# I 基本目標 『誰もが自分らしく 暮らせるまちづくり』

## 実施計画3 「誰にもわかりやすい福祉情報の提供」

### ⑤ ふくし掲示板の設置の推進

- 住民や自治会・町内会などの協力を得てふくし掲示板を設置し、身近なところで福祉情報を得られるようにします。



ふくし掲示板

### ⑥ インターネットなどによる福祉情報の発信と活用

- 地域の福祉サービスや福祉活動の情報をホームページで積極的に発信します。
- SNS等を活用した、地域住民との双方向の情報活用を行います。

## 実施計画4 「一人ひとりを大切にする支援」

### ⑦ 生活困窮者や社会的孤立への支援

- 社会から孤立していたり、制度での対応が難しい人への早期発見のしくみづくりを行います。
- 子ども食堂や学習支援などのとりくみを通して、子どもの居場所づくりや貧困の世代連鎖の解消を図ります。



子ども食堂の取り組み

### ⑧ 日常生活自立支援事業・成年後見制度の活用

- 日常生活自立支援事業や成年後見制度の利用促進を図ります。
- 日常生活自立支援事業から成年後見制度への移行支援を行います。

# T 基本目標 『誰もが参加できる 支え合いのまちづくり』

## 実施計画5 「地域福祉活動を推進する社会資源の開発」

### ⑨ 地域福祉サポーターの育成と活動の強化

- 養成講座を開催し「地域福祉サポーター」（※）の育成や活動支援を行います。



地域福祉サポーター養成講座

### ⑩ 地元の商店や企業、社会福祉法人などによる地域貢献活動の促進と支援

- 企業や社会福祉法人などの地域貢献活動について積極的に働きかけていきます。

## 実施計画6 「支え合いの地域づくり」

### ⑪ 地区社会福祉協議会（地区社協）をはじめとした地域福祉推進の組織づくり

- 地域で活動している組織・団体等と連携し、さまざまな世代が身近に参加できる、ネットワークづくりや組織活動を支援します。
- 自治会・町内会の支え合い活動を応援します。

### ⑫ コミュニティソーシャルワーカー（CSW）（※）による地域づくりのとりくみ

- 個別の支援を行いながら、地域住民と共に生活課題の解決や地域福祉活動・地域づくりを支援していきます。
- 地域住民、自治会・町内会、民生委員・児童委員、関係機関、SC（※）、地域福祉サポーター等との連携を図りながら地域づくりを進めます。



CSWによる出張相談会

# H 基本目標 『誰にも心やさしいまちづくり』

## 実施計画7 「福祉課題の理解と福祉の心（ふくしマインド）の醸成」

### ⑬ 参加型交流体験ができるふくし学習プログラムの開発

- ふくし学習の充実・強化を計画的・効果的に推進するため、「ふくし学習推進プロジェクト会議」を設置し、地域住民、学校、各種団体、企業等と連携して、地域共生社会を目指したプログラムの開発に取り組みます。

### ⑭ ふくし学習の場や機会の拡充

- 関係機関・団体と連携し、ふくし学習プログラム（出前講座を含む）を学校や地域の様々な場面で展開します。



小学校でのふくし学習授業

## 実施計画8 「身近な暮らしの場における活動拠点の増設」

### ⑮ 地域サロンをはじめとする活動拠点の開拓

- 子どもから大人まで気軽に集えるサロンや居場所の開拓・運営を応援します。



地域でのサロン活動

### ⑯ 空き家・空き店舗、社会福祉施設、企業の会議室等の活用

- 社会福祉施設などと連携し、既存の会議室等の活用を進めます。